

# 原田ゼミナール2023

## 人間の血液からマイクロプラスチック！？

プラスチックごみの中でも、特に小さな「マイクロプラスチック」が環境に悪影響している。海や川、湖、土壌、など地球のあらゆる場所で見つまっている。また、人間の血液や胎盤、排泄物にもある。プラスチックは非常に厄介で、分解するのに長い年月を要するためである。例としてペットボトル一つ分解するのに約400年かかる。

## 清掃活動

ごみの問題は深刻なものである。このため、ゼミの活動内容の一環として、月に1回淀川の庭窪ワンドでの清掃活動をしている。また、絶滅危惧である「イタセンパラ」の保全活動や外来種の調査などを行っている。



## 授業内容

授業の一環として、2年生では奈良駅付近での街頭アンケート調査を実施、また他大学との合同でのディベート大会に参加しました。

3回生では、SDGsを深く学ぶため企業が行っているSDGsを調べ発表をした。4回生は卒業論文などを行っている。



## NPO法人プロジェクト保津川でのボランティア活動

「夏と言えば、保津川を遊泳するアユの姿を思い出してほしい。」昔ながらの漁法でアユなどの魚を捕まえる体験やライフジャケットを付けて、川流れも楽しむことなど参加者の補助としてさんかをさせていただきました



## 原田ゼミの花火大会！？

京都府亀岡市で「亀岡平和祭保津川市民花火大会」が開催され、原田ゼミでは、NPO団体と共にエコステーションを開設して、運営をした。しかし、ポイ捨てが多く、地面に散乱されている状態でした。

このため、翌日に清掃活動を行いました。

